

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51100 農業委員会運営費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略			
			項	1	農業費		根拠計画			農業振興地域整備計画
			目	1	農業委員会費					
担当課	農政部 農務課	内線	2227							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農地保全に資する客観的・中立的で公正な判断を行う。</li> <li>農業委員会の効率的かつ透明な組織運営を行う。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会の審議・活動の「見える化」推進</li> <li>農業委員会の総会の公開と、議事録の公表</li> <li>日常的な「農地パトロール」の実施</li> <li>遊休農地の発生防止と解消、違反転用の防止</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
担い手への農地集積率	41.8%	42.9%	60%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	22,999	22,739	23,169	23,169	22,021	△ 718
特定財源						
国費( )						
県費(農業委員会費10/10、県移譲事務交付金)	8,397	10,036	8,513	8,513	9,787	△ 249
その他(農業者年金業務雑入)	1,200	1,142	1,200	1,200	1,033	△ 109
一般財源	13,402	11,561	13,456	13,456	11,201	△ 360
個票枝番	主な事業内容					
	農業委員会委員報酬	6,407	6,407	6,407	6,407	0
	農地利用最適化推進委員報酬	11,988	11,988	11,988	11,988	0
	農業委員会委員報酬(地区委員)	2,040	2,010	2,010	2,000	△ 10

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
23,320	23,109	23,109	△ 60
8,513	8,470	8,470	△ 43
1,033	1,000	1,000	△ 200
13,774	13,639	13,639	183
査定額	説明		
6,407	19人		
11,988	45人		
2,000	200人		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会の開催(12回)</li> <li>機関紙の発行(4回)</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員合同によるブロック会議を開催(5ブロック各1回)</li> <li>美女高原射撃場の視察(久々野町辻地区)、「6次産業化の取り組みについて勉強会(一之宮町)を実施</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員と、市長との懇談会を開催</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員会へ出席(可児市)</li> <li>地域別農業委員、農地利用最適化推進委員研修会へ出席(関市)</li> <li>ぎふ農業委員会女性ネットワーク総会並び研修会出席(各務原市)</li> <li>改良組合等を通じ、全農家に農家意向アンケートを配布し、農地の規模拡大、縮小の調査を行い、出し手と受け手のマッチングを推進した。</li> <li>行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(市1回、県1回)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農家意向アンケートによる情報を基にした担い手への農地集積・集約化、農地のマッチングに向けた取り組みが積極的に行われた。</li> <li>農業委員が支所地域の農地状況や耕作状況を把握するため、月例で開催する農業委員会を支所で開催した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員の改選期のため、研修会や勉強会を開催し、連携体制を整えて農地利用最適化がスムーズに遂行されるよう進める。</li> <li>守るべき農地の取り扱いを明確にし、非農家等に対する農地利用規制等の緩和を進める。</li> <li>人・農地プランの具現化に向け、農業委員や農地利用最適化推進委員、地域との合意形成を築く。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会の開催(12回)</li> <li>機関紙の発行(3回)</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員合同によるブロック会議[新型コロナウイルス感染症の影響により中止]</li> <li>日本自然発酵荘川研究所の視察(荘川町)を実施</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員と、市長との懇談会[新型コロナウイルス感染症の影響により中止]</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員会・地域別農業委員、農地利用最適化推進委員研修会・ぎふ農業委員会女性ネットワーク総会並び研修会[新型コロナウイルス感染症の影響により中止]</li> <li>改良組合等を通じ、全農家に農家意向アンケートを配布し、農地の規模拡大、縮小の調査を行い、出し手と受け手のマッチングを推進した。</li> <li>行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(市1回、県1回)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員等の改選により、独自の研修会や意見交換会を開催し、連携体制を整えた。</li> <li>農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農家意向アンケートによる情報を基にした担い手への農地集積・集約化、農地のマッチングに向けた取り組みを行った。</li> <li>農業委員が支所地域の農地状況や耕作状況を把握するため、月例で開催する農業委員会を支所で開催した。</li> <li>非農家等に対する農地利用規制等の緩和について検討を行った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>非農家等に対する農地利用規制等の緩和に向け、具体的な緩和措置の検討を進める。</li> <li>人・農地プランの具現化に向け、農業委員や農地利用最適化推進委員、地域との合意形成を築く。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	農業委員、農地利用最適化推進委員等の活動支援に係る予算を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画		農業振興計画	
			目	2	農業総務費					
担当課	農政部 農務課	内線	2222							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生産活動に必要な条件を備えた農業地域を保全。形成する。</li> <li>各種団体との情報交換等による地域農業の振興を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興計画(農地利用計画)により、集团的優良農用地の確保に努めるとともに、農業者等地域の諸情勢の変化に対応できるよう計画の変更等の管理を行う。</li> <li>農業災害補償法にかかる事務を3市1村の事務組合で行う。</li> <li>飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等への加入</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円
担い手への農地集積率	41.8%	42.9%	60%
認定農業者数	542経営体	546経営体	610経営体

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	86,044	85,709	7,216	7,216	6,637	△ 79,072	
特定財源							
国費( )							
県費( 県移譲事務交付金 )	45	76	45	45	30	△ 46	
その他( )							
一般財源	85,999	85,633	7,171	7,171	6,607	△ 79,026	
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨農業共済事務組合負担金	78,779	78,779			△ 78,779	
	農業振興地域整備促進協議会委員及び農業経営基盤強化推進会議委員謝礼	380	156	380	172	16	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	7,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
7,202	7,175	7,175	△ 41
45	30	30	△ 15
7,157	7,145	7,145	△ 26
査定額	説明		
380	促進協議会23人、推進会議26人		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進協議会を各1回開催した。</li> <li>各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。</li> <li>局所的な災害が増加していることから、各種共済の加入を促進した。</li> <li>農業共済の県下1組織化を促進した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>水稲共済は、作付面積が年々減少であることに加え、平成31年産から任意加入となり未加入者が大幅に増加し、引受面積は平成30年産1730ha(2,974戸)から平成31年産1510ha(2,249戸)に減少した。</li> <li>園芸施設共済は、昨年1月の制度改正により栽培開始する前年度2、3月に通年で全棟を一括引受済みであったことや廃業等により、引受棟数は平成30年度14,761棟(858戸)から平成31年度12,448棟(621戸)に減少した。</li> <li>各種団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨農業共済事務組合の県下1組織化後も引き続き各種共済や収入保険の加入促進に努める。</li> <li>各団体の活動内容については、事業効果を踏まえて見直す必要がある。</li> <li>各種会議等に積極的に参加し、将来を見据えた農業施策を検討する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進協議会を各1回開催した。</li> <li>各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。</li> <li>局所的な災害が増加していることから、継続して各種共済など農業保険の加入を促進した。</li> <li>飛騨エアパークについては今後の利活用のため、県が主体となり関係機関と協議している。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>水稲共済は、任意加入制度に移行した平成31年産に増加した未加入者への加入促進により、令和2年産の引受面積は1,510ha(2,249戸)から1,535ha(2,398戸)に増加した。</li> <li>園芸施設共済は、廃業等により農家戸数は減少しているものの、補助事業申請者等への加入促進効果もあり、引受棟数は平成31年度12,448棟(621戸)から令和2年度12,524棟(570戸)に増加した。</li> <li>各種団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努める。</li> <li>各団体の活動内容については、事業効果を踏まえて見直す必要がある。</li> <li>各種会議等に積極的に参加し、将来を見据えた農業施策を検討する。</li> <li>飛騨エアパークについては、今後の方向性が決定され次第、負担金の見直しを行う。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51300 営農推進対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業のひとつである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画		
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2222								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、経営規模の拡大・農業経営の安定を図るとともに、不付作地の解消を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産調整の確実で円滑な実施。</li> <li>高山営農推進協議会が、各集落における現状の把握、問題点の整理、解決方法の検討、各種政策の推進及び研修を行うことで、地域農業の活性化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人・農地プラン」に基づき、地域の中心となる農業経営体への農地集積や集約化を推進する。</li> <li>立地条件に合った水田の有効活用を促進する。</li> <li>農業経営体の育成及び強化を行うため講座や研修会を開催する。</li> <li>農業改良組合や営農推進協議会などの農業者団体との連携強化を図る。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円
担い手への農地集積率	41.8%	42.9%	60%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	30,774	24,363	28,024	28,031	20,602	△ 3,761	
特定財源							
国費( )							
県費( 経営所得安定化対策事業費等 10/10等 )	17,550	13,515	15,200	15,200	9,596	△ 3,919	
その他( 夢・まちづくり基金繰入金、受託事業収入 )	2,600	138	100	100	226	88	
一般財源	10,624	10,710	12,724	12,731	10,780	70	
個票枝番	主な事業内容						
	水稲病害虫共同防除に対する助成	2,000	1,696	2,000	2,000	1,751	55
	農地集積協力者に対する助成	9,000	7,483	8,500	8,500	3,411	△ 4,072
	経営所得安定対策の推進活動に対する助成	6,550	6,032	6,200	6,200	6,185	153
	飛騨の美味しいお米食味コンクール実行委員会負担金	260	333	310	310	305	△ 28
	環境王国認定市町村連絡協議会負担金	114	114	114	114	44	△ 70
	地域農業組織の基盤強化に対する助成	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0
	GAP(農業生産工程管理)認証取得に対する助成	2,500	149	2,000	2,000	173	24

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		28,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
24,128	23,874	23,874	△ 4,150	
12,309	12,100	12,100	△ 3,100	
100	1,100	1,100	1,000	
11,719	10,674	10,674	△ 2,050	
査定額	説明			
2,000				
5,400	就農支援地確保事業補助金			
6,200	飛騨地域農業再生協議会への補助金			
310				
114				
5,000	地域農業組織強化支援事業補助金			
1,000	GAP認証取得支援事業補助金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(13団体、1080.4ヘクタール)</li> <li>農地集積協力者への助成(43件、28.8ヘクタール)</li> <li>施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(3件、1.2ヘクタール)</li> <li>米の生産数量目標達成のための助成(1団体)</li> <li>米コンビの開催</li> <li>GAP認証を取得する生産者への助成(1団体)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。</li> <li>米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。</li> <li>水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、稲作経営の安定化を図った。</li> <li>GAP認証取得の推進を通して、生産者の持続的な経営発展を図った。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。</li> <li>「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。</li> <li>経営所得安定対策事業補助金や水稲病害虫共同防除事業補助金の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。</li> <li>高山市営農推進協議会活動の支援により、各地域における課題解決を推進する。</li> </ul>	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(13団体、1028.1ヘクタール)</li> <li>農地集積協力者への助成(33件、21.1ヘクタール)</li> <li>施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(2件、0.7ヘクタール)</li> <li>米の生産数量目標達成のための助成(1団体)</li> <li>米コンビの開催</li> <li>GAP認証を取得する生産者への助成(1団体)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。</li> <li>米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。</li> <li>水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、稲作経営の安定化を図った。</li> <li>GAP認証取得の推進を行ったが、1農業者の活用にとどまった。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。</li> <li>「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。</li> <li>経営所得安定対策事業補助金等の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。</li> <li>高山市営農推進協議会活動の支援により、各地域の課題解決を推進する。</li> <li>水稲病害虫共同防除事業補助金については、補助回数を見直した場合の影響等鑑みながら、支援内容について関係団体と協議を進める。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51305 農業体験施設等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業のひとつである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	農業費	根拠計画	産業振興計画				
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2223								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市と農村との交流増加による地域の活性化</li> <li>・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成</li> <li>・生産、収穫などの農業体験を通じて、家族とのふれあいや地域の農業、農作物に対する理解を深める。</li> <li>・生きがいをもち、健康でゆとりのある生活の実現を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する(巣野野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞在型農園施設、清見里人学校、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館)</li> <li>・市民ふれあいファミリー農園を提供する(塩屋、下切)</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
新規就農者数(年間)	26人	33人	30人

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		31,873	31,080	30,773	34,109	33,477	2,397
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(指定管理事業雑入(農業施設)等)	1,379	1,078	1,071	1,071	752	△ 326
一般財源		30,494	30,002	29,702	33,038	32,725	2,723
個票枝番	主な事業内容						
	荒城農業体験交流館ほか5施設の管理運営(指定管理)	28,175	27,444	26,900	29,697	29,073	1,629
	施設修繕	3,600	3,539	1,900	1,881	1,881	△ 1,658

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		30,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
46,404	31,272	31,272	499	
775	769	769	△ 302	
45,629	30,503	30,503	801	
査定額	説明			
26,970	指定管理委託料			
1,400				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6施設の利用者数(指定管理事業のみ) 8,173人</li> <li>・荒城農業小学校参加児童数 82人</li> <li>・市民農園利用区画数 塩屋農園 54区画、下切農園 40区画</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。</li> <li>・現地に赴き、利用者の直の声を行い、利用者が快適に利用できるよう、適正管理に努めた。</li> <li>・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。</li> <li>・公共施設総合管理計画に基づく、施設の統廃合等を検討する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化をめざす。</li> <li>・地元団体への譲渡について、補助金適正化法による制限などを調査し、検討する。</li> <li>・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。</li> <li>・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する。</li> </ul>

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6施設の利用者数(指定管理事業のみ) 5,378人</li> <li>・荒城農業小学校参加児童数 76人</li> <li>・市民農園利用区画数 塩屋農園 60区画、下切農園 38区画</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。</li> <li>・コロナ禍で利用客が減少した中において効率的な経営を固りながら、利用者が快適に利用できるよう適正管理に努めた。</li> <li>・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。</li> <li>・公共施設総合管理計画に基づく、施設の統廃合等を検討する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し地域の活性化をめざす。</li> <li>・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。</li> <li>・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する。</li> <li>・譲渡を予定している施設については、施設譲渡に向けての協議を進める。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・各種施設の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51310 農作物獣害防止対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出			
			項	1	農業費		根拠計画		鳥獣被害防止計画			
			目	3	農業振興費							
担当課	農政部 農務課	内線	2223									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の推進(研修会の開催促進、鳥獣侵入防止柵等の設置支援)</li> <li>猟友会を中心に任命された鳥獣被害対策実施隊による安全かつ適正な有害鳥獣の捕獲</li> <li>農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
鳥獣による農作物被害面積(年間)	33ha	27.9ha	35ha

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		100,220	79,212	85,370	85,339	63,226	△ 15,986
特定財源	国費( )						
	県費(鳥獣被害防止対策事業費10/10等)	26,369	20,423	18,363	18,393	13,851	△ 6,572
	その他( )						
一般財源		73,851	58,789	67,007	66,946	49,375	△ 9,414
個票枝番	主な事業内容						
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(国県補助)	16,000	13,343	6,000	6,000	3,373	△ 9,970
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(市単独)	10,000	8,478	10,000	10,000	7,406	△ 1,072
	有害鳥獣の捕獲	53,500	42,755	46,000	46,000	37,425	△ 5,330
	鳥獣被害対策実施隊	6,700	6,337	6,700	6,700	6,337	0
	ニホンジカの個体数調整捕獲	4,500	1,740	4,500	4,500	3,075	1,335
	鳥獣被害防止対策協議会に対する助成	3,500	3,335	4,600	4,600	4,604	1,269
	捕獲技術者の育成	9,800	1,721	6,800	6,800	307	△ 1,414

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		86,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
86,672	82,500	82,500	△ 2,870	
21,004	18,868	18,868	505	
65,668	63,632	63,632	△ 3,375	
査定額	説明			
6,000				
10,000				
45,000				
6,940				
3,800				
3,200				
6,800	有害鳥獣捕獲技術者育成補助金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:20箇所、受益面積:93.9ha</li> <li>鳥獣被害対策実施隊員数 319名(免許所持者:191名、補助者:128名)</li> <li>捕獲技術者育成(延べ人数) 8名</li> <li>捕獲数量(有害) イノシシ:955頭、サル:257頭、ニホンジカ:585頭、クマ:191頭、カラス:26羽</li> <li>狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:0頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 127頭</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣被害対策実施隊への民間隊員の加入により、捕獲従事者の待遇改善が図られた。</li> <li>地域ぐるみでの取り組みを推進する上で、地域ぐるみの捕獲体制作りを進める必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に、被害軽減を図る。</li> </ul>

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:16箇所、受益面積:44.26ha</li> <li>鳥獣被害対策実施隊員数 319名(免許所持者:197名、補助者:122名)</li> <li>捕獲技術者育成(延べ人数) 8名</li> <li>捕獲数量(有害) イノシシ:281頭、サル:234頭、ニホンジカ:761頭、クマ:122頭、カラス:19羽</li> <li>狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:25頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 205頭</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲技術者育成により、捕獲従事者の技術継承が図られた。</li> <li>地域ぐるみで農地を守る取り組みを推進するため、捕獲体制作りを進める必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に、被害軽減を図る。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

23\_農務課\_6

事業名	51315 農業制度資金等利子補給事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画		
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2226								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る。	概要	・農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する。
----	--	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,000	811	820	4,920	1,063	252
特定財源	国費( )						
	県費(農業経営基盤強化資金利子補給金 1/2)	460	388	395	395	388	0
	その他( )						
一般財源		540	423	425	4,525	675	252
個票枝番	主な事業内容						
	農業経営基盤強化資金利子補給金(債務負担)	920	776	790	676	676	△ 100
	災害復旧支援融資資金利子補給金(債務負担)	80	34	30	60	60	26
	新型コロナウイルス対策利子補給金				4,000	327	327
	令和2年7月豪雨災害復旧支援融資利子補給金				100	0	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,944	1,270	1,270	450	
334	335	335	△ 60	
2,610	935	935	510	
査定額	説明			
670				
30	H30豪雨災害			
480	コロナ対策利子補給金			
90	R2.7豪雨災害利子補給金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・利子補給件数 24件 ・災害復旧支援にかかる件数 7件
評価等	・緊急景気対策としての利子補給は、景気の動向等を踏まえて事業の必要性について検討する。 ・災害復旧にかかる利子補給は、営業継続に必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	農業経営基盤強化資金利子補給 件数21件 災害復旧支援融資資金利子補給 件数 4件 新型コロナウイルス対策利子補給 件数 5件 令和2年7月豪雨災害復旧支援融資利子補給金 利用なし
評価等	・新型コロナウイルス緊急景気対策としての利子補給は動向等を踏まえて事業の必要性について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。 ・令和2年度7月豪雨災害復旧支援農業者向け融資利子補給金については、R2年度借入者がいないため、R4年度廃止する。

担当課 予算要求 ポイント	・農業経営基盤強化資金利子補給に必要な経費を計上 ・災害復旧支援融資資金利子補給に必要な経費を計上 ・新型コロナウイルス対策利子補給に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

23\_農務課\_6

51315

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	新規農業従事者の確保、農林畜産業の担い手となる人材の育成に努めます。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画		
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2224								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>次代を担う新規就農者及び農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施</li> <li>新規就農者等の農地賃借料に対する助成</li> <li>農業後継者団体等に対する助成及び農業後継者における海外研修に係る経費に対する助成</li> <li>認定新規就農者等の経営を安定させるために給付金等を給付</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
新規就農者数	26人	33人	30人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	62,510	60,375	59,660	73,210	68,110	7,735	
特定財源							
国費( )							
県費(青年就農者支援事業費10/10・就農研修支援事業費10/10等)	47,500	57,947	50,550	64,050	65,691	7,744	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	2,602		735	735	100	100	
一般財源	12,408	2,428	8,275	8,425	2,319	△ 109	
個票枝番	主な事業内容						
	新規就農者の経営規模拡大に対する助成	1,100	856	1,000	1,000	613	△ 243
	就農体感ツアー、就農移住相談会、短期研修ほか	1,040	770	1,040	1,090	300	△ 470
	就農希望者に対する実践的な農業研修の支援	4,000	2,800	2,800	2,800	2,800	0
	50歳未満の独立・自営就農者に対する助成	43,500	37,779	42,750	56,250	53,659	15,880
	農業後継者に対する助成(農業後継者の経営参画等に対する助成)	10,000	17,000	10,000	10,000	10,667	△ 6,333
	農業後継者に対する助成(農業団体への活動に対する助成)	1,270	1,170	1,270	1,270	71	△ 1,099
	50歳未満で就農する長期研修生に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		59,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
73,511	60,030	60,030	370	
66,920	53,430	53,430	2,880	
443	763	763	28	
6,148	5,837	5,837	△ 2,438	
査定額	説明			
1,000	新規就農者規模拡大事業補助金			
820				
2,400	農業研修生受入農家への謝礼			
30,000				
16,000				
1,270				
7,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農希望者の実践的就農研修の受入 7名</li> <li>4Hクラブ、JAひだ青年部、指導農業士会等の活動に対する助成 4団体</li> <li>農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 17名</li> <li>新規就農者等への農地賃借料に対する助成 21名</li> <li>農業次世代人材投資資金の交付等による新規就農者等への支援 27件</li> <li>新規就農相談件数 87件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業次世代人材投資資金等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。</li> <li>各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農希望者の実践的就農研修の受入 7名</li> <li>JAひだ青年部の活動に対する助成 1団体</li> <li>農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 12名</li> <li>新規就農者等への農地賃借料に対する助成 17名</li> <li>農業次世代人材投資資金の交付等による新規就農者等への支援 29件</li> <li>新規就農相談件数 41件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業次世代人材投資資金等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。</li> <li>コロナ禍に対応した就農情報サイトの登録やリモート面談等で、高山市の支援情報を積極的に発信する。</li> <li>就農につながる研修生を確保するため、次世代人材投資事業[準備型]を活用し、就農前の不安定な環境を下支える。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>50歳未満の独立・自営就農者に対する助成について、県による一部令和2年度への前倒し交付に伴い積算内容を精査</li> </ul>
-------------------	---

市長査定の 考え方	
--------------	--

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51325 地域特産物振興助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨・高山の農林畜産品のブランド化をメイド・バイ飛騨高山認証制度なども活用しながら強化するとともに、トップセールスによる市場開拓、市場拡大を目指します。
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画		
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2223								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起しを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。</p>	概要	<p>・各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付          【ステップ1 発掘】 地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等          【ステップ2 育成】 地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化          【ステップ3 振興】 地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動</p>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	3,000	1,079	2,000	2,000	842	△ 237
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他( )						
一般財源	3,000	1,079	2,000	2,000	842	△ 237
個票枝番	主な事業内容					
	地域特産物発掘(新たな農産物の選定、栽培技術・販売体系の確立への助成)	1,000	500	500	742	242
	地域特産物育成(生産拡大や高品質化への助成)	1,000	439	1,000	93	△ 346
	地域特産物振興(新商品開発や販売促進活動への助成)	1,000	140	500	7	△ 133

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,500	2,000	2,000	0	
2,500	2,000	2,000	0	
査定額	説明			
500				
1,000				
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップ1 吉城きのこ生産出荷組合(きくらげ、1年目)</li> <li>・ステップ2 高山蔬菜出荷組合高冷地部会(スナップエンドウ、2年目)</li> <li>・ステップ3 高山市有機農業推進協議会(伝統野菜、3年目)</li> </ul>
評価等	<p>・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりにつなげていく。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善  <input type="checkbox"/> 拡大  <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 廃止検討  <input type="checkbox"/> H31完了  <input type="checkbox"/> R2完了予定</p>

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップ1 吉城きのこ生産出荷組合(きくらげ、2年目)</li> <li>・ステップ1 飛騨生姜プロジェクト(しょうが、2年目)</li> <li>・ステップ2 高山市果実組合(リンゴ、桃他、1年目)</li> <li>・ステップ3 高山市有機農業推進協議会(伝統野菜、4年目)</li> </ul>
評価等	<p>・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。</p> <p>・若い後継者が発起人となって新たな取組に挑戦する動機付けとして機能している。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・国等の事業は規模や予算が大きくないと該当しないため、新規の小さな取組の支援として継続が必要。</p> <p>・地域の特色を活かした農産物振興のため、段階的なステップを設けて支援を進めているが、より事業効果が上がるよう検討を進める。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善  <input type="checkbox"/> 拡大  <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 廃止検討  <input type="checkbox"/> R2完了  <input type="checkbox"/> R3完了予定</p>

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに



事業シート(令和2年度決算)

事業名	51330 6次産業化支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	飛騨・高山の農林畜産品のブランド化をメイド・バイ飛騨高山認証制度なども活用しながら強化するとともに、トップセールスによる市場開拓、市況拡大を目指します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築		
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画		
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2225								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業者による6次産業化を支援することで付加価値の高い産地産品づくりを促進し、農産物のブランド化、農業者の持続的かつ健全な発展及び地域の活性化を図る。	概要	・農業者が新たな加工・流通・販売に取組む場合に必要施設、機械、機具類の整備費等に対して助成する。
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,000	0	4,000	3,981	3,553	3,553
特定財源	国費( )						
	県費( 農業6次産業化促進支援事業費 10/10 )	4,000	0	4,000	3,981	3,553	3,553
	その他( )						
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	6次産業化(生産・加工・販売)に対する助成	4,000	0	4,000	3,981	3,553	3,553

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		4,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,000	2,000	2,000	△ 2,000	
2,000	2,000	2,000	△ 2,000	
0	0	0		
査定額	説明			
2,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・事業中止により実質なし R2年度実行案件の相談 4件
評価等	・今年度は実施には至らなかったが、相談等で6次産業化の取り組みの支援を進めた。 ・機械導入後の目標達成率が低いため、継続した販路開拓や品質等改善の支援が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・事業者4件(新商品の開発に必要な機械等 急速冷凍庫・充填機・真空包装機等の導入)
評価等	・農業者による6次産業化を支援し、付加価値の高い産地産品づくりの促進に寄与した。 ・機械導入後の目標達成率が低いため、継続した販路開拓や品質等改善の支援が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・付加価値の高い産地産品づくりの促進のための6次産業化の取り組みに必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51335 農業施設等整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	農業費	根拠計画	産業振興計画				
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2226								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふクリーン農業を基本に、品質向上や生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する。</li> <li>新規就農者や意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に寄与する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成する。</li> <li>意欲ある多様な経営体が自ら計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に直接支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	261,000	243,631	97,500	97,500	55,869	△ 187,762	
特定財源	国費 ( 農業用施設等災害復旧対策事業費 )	124,841	124,841		281	△ 124,560	
	県費 ( 農業総合整備事業費1/4、経営体育成支援事業費3/10 等 )	61,800	50,997	64,100	34,015	△ 16,982	
	その他( )		0	0			
一般財源	74,359	67,793	33,400	33,400	21,573	△ 46,220	
個票枝番	主な事業内容						
	農業用機械・施設の導入に対する助成	78,000	57,916	81,000	81,000	52,655	△ 5,261
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成	15,000	12,704	16,500	16,500	0	△ 12,704
	農業用施設災害における生産施設の復旧に対する助成	168,000	167,047	0	0	3,214	△ 163,833

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		97,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
84,665	85,000	85,000	△ 12,500	
56,167	56,400	56,400	△ 7,700	
28,498	28,600	28,600	△ 4,800	
査定額	説明			
75,000				
10,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業総合整備事業(雨よけハウス、包装機、育苗ベッド、コンバイン、暖房機、食味計等) 延べ10団体</li> <li>担い手確保、経営強化支援事業(コンバイン、トラクター) 3経営体</li> <li>農業用施設等災害対策事業(資材等助成) 174経営体</li> <li>スマート農業機械を導入した生産者への助成(防除用ドローン、直進アシスト田植機) 2経営体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の早期着工に向け、引き続き事業実施主体、県等と連携して推進していく必要がある。</li> <li>成果目標と事業費比率のポイント制で採択されるため、事業採択のためには高い成果目標の設定と事業費の低減が必要であることを農業者に理解を求めなければならない。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画の精度を高め、個々の事業を精査し事業全体の推進に努める。</li> <li>事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。</li> <li>事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。</li> <li>市のホームページ等で事業内容をPRし、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で要望量を把握し、事業推進に努める。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業総合整備事業(雨よけハウス、包装機、予冷库、コンバイン、田植え機 等) 6団体 3経営体</li> <li>農業用施設等災害対策事業(ハウス資材支援 個人5名 法人1名 防除用資材支援 196a 25戸)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の早期着工に向け、引き続き事業実施主体、県等と連携して推進していく必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画の精度を高め、個々の事業を精査し事業全体の推進に努める。</li> <li>事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。</li> <li>事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。</li> <li>市のホームページ等で事業内容をPRし、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で要望量を把握し、事業推進に努める。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	ぎふクリーン農業を基本とした機械・施設等の導入支援に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	精算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51337 スマート農業導入事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	農業費		根拠計画				
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2226								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢化等で農業の担い手が減少するなか、限られた労力で高い成果を上げられる環境づくりをすすめる。	概要	・ICTやAIなどの最新技術を利用した農業機械の導入に対する支援
----	--	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
				6,000	6,000	5,033	5,033
特定財源	国費( )						
	県費( スマート農業技術導入支援事業補助金1/3 )			4,000	4,000	3,710	3,710
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			1,600	1,600	1,300	1,300
一般財源				400	400	23	23
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	ICTを活用した農業機械の導入に対する支援			6,000	6,000	5,033	5,033

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,000	6,000	6,000	0
4,000	4,000	4,000	0
2,000	1,000	1,000	△ 600
	1,000	1,000	600
査定額	説明		
6,000	スマート農業技術導入事業補助金		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自走式草刈機 1台</li> <li>・直進アシスト田植え機 1台</li> <li>・ハウス内環境センサー 2台</li> <li>・防除用ドローン 1台</li> <li>・側窓自動開閉+ミスト 1台</li> <li>・側窓自動開閉+農業ダクト散布 1台</li> </ul>
評価等	・ICT・AI等のスマート農業技術機械導入により、省力化・労働力不足の解消に効果を発揮している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・スマート農業技術の導入に関する支援を継続して進めていく。 ・実証実験等の成果を活かし、地域に適したスマート農業の推進を行う。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	51337 スマート農業導入事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農務課
枝番・内容	1 ICTを活用した農業機械の導入に対する助成		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	5	農林水産業費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	農業費	内線	2222	
			<input type="checkbox"/>		目	3	農業振興費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢化等で農業の担い手が減少しており、限られた労力で高い成果を上げられる環境づくりを推進するため	概要	・ICTやAIといったスマート農業技術を活用した農業機械の導入を支援する。
----	---	----	---------------------------------------

[参考] H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	施設の保守管理運営経費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	6,000
	繰越	
	補正等	
	最終	6,000
決算額		5,033
対前年度増減額(決算)		5,033

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	ICTやAIといったスマート農業技術を活用した農業機械の導入に係る経費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>目的:</p> <p>高齢化等で農業の担い手が減少しており、限られた労力で高い成果を上げられる環境づくりが必要であるため、ICTやAIといったスマート農業技術を活用した農業機械の導入を支援する。</p> <p>目指す姿:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の自動走行などの利用により、規模拡大を実現</li> <li>・データ等を活用したきめ細かい栽培により、多収・高品質生産を実現</li> <li>・アシストスーツやラジコン草刈機等により、大変な作業から解放</li> <li>・ノウハウの見える化により、経験の少ないものも対処可能な環境を実現</li> <li>・クラウドを使った生産情報の提供等により、産地と実需者を直結</li> </ul> <p>R2 導入予定技術:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直進キープ田植え機</li> <li>・防除用ドローン</li> <li>・自走式草刈機 等</li> </ul>
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2.2~6 スマート農業推進プロジェクト会議にて、導入支援すべき技術を検討</li> <li>・R2.4~ 順次 スマート農業技術を導入</li> </ul>

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自走式草刈機 1台</li> <li>・直進アシスト田植え機 1台</li> <li>・ハウス内環境センサー 2台</li> <li>・防除用ドローン 1台</li> <li>・側窓自動開閉+ミスト 1台</li> <li>・側窓自動開閉+農業ダクト散布 1台</li> </ul>
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT・AI等のスマート農業技術機械導入により、省力化・労働力不足の解消に効果を発揮している。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>目的:</p> <p>高齢化等で農業の担い手が減少しており、限られた労力で高い成果を上げられる環境づくりが必要であるため、ICTやAIといったスマート農業技術を活用した農業機械の導入を支援する。</p> <p>目指す姿:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の自動走行などの利用により、規模拡大を実現</li> <li>・データ等を活用したきめ細かい栽培により、多収・高品質生産を実現</li> <li>・アシストスーツやラジコン草刈機等により、大変な作業から解放</li> <li>・ノウハウの見える化により、経験の少ないものも対処可能な環境を実現</li> <li>・クラウドを使った生産情報の提供等により、産地と実需者を直結</li> </ul> <p>R3 導入予定技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防除用ドローン</li> <li>・ハウス環境のモニタリングシステム 等</li> </ul>
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・~6月 県との調整を経て、補助事業を決定する</li> <li>6月~3月 補助事業の実施</li> </ul>

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51340 地産地消推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築		
			項	1	農業費	根拠計画	産業振興計画				
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2225								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生産されたものを地域で消費する。</li> <li>・生産者の顔がみえ、新鮮で安全安心な農畜産物が供給される。</li> <li>・地域の農業と関連産業の活性化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消に取り組む事業者の情報発信や消費者と生産者の連携を強化し、地産地消を推進する。</li> <li>・市内の小中学校等大量調理施設において、地域農産物の利用促進を行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		5,750	4,054	5,690	5,147	234
特定財源	国費( )					
	県費( 学校給食地産地消事業費 1/3 )	1,000	997	1,000	882	△ 115
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	200	400	100	400	0
一般財源		4,550	2,657	4,590	4,047	349
個票枝番	主な事業内容					
	生産者と食品関連事業者とのマッチングイベント等	1,050	665	990	825	△ 190
	学校給食での県内産米、小麦粉、野菜等の利用促進	4,700	3,390	4,700	4,322	423

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		5,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,713	5,600	5,600	△ 90	
1,000	1,000	1,000	0	
			△ 100	
4,713	4,600	4,600	10	
査定額	説明			
1,200	地産地消推進PR事業の実施			
4,400				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<p>地産地消推進会議を4回開催し、推進事業等について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業の実施(料理教室の開催(4回)、飛騨をまるごと食べんな月間における啓発事業の実施、手作り弁当の募集、飛騨高山まるごとマルシェの実施、米食比べ試食会の開催(1回)、農家ツアーの開催(1回)フェイスブック・インスタグラム等での情報発信</li> <li>・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進</li> <li>・学校給食における県内産農産物の利用量 153トン</li> <li>・学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 65.8%</li> <li>・公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 12.3%</li> <li>・地産地消の取り組みを発信する店舗・団体数 243件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。</li> <li>・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取り組みを、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<p>コロナ禍のため逐次小規模なワーキンググループ会議(11回)を開催し、推進事業等について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業の実施(料理教室の開催(4回)、飛騨をまるごと食べんな月間における啓発事業の実施、手作り弁当の募集、青空レストランの実施、農家ツアーの開催(1回)、フェイスブック・インスタグラム等での情報発信</li> <li>・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進</li> <li>・学校給食における県内産農産物の利用量 170トン</li> <li>・学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 64.4%</li> <li>・公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 13.2%</li> <li>・地産地消の取り組みを発信する店舗・団体数 236件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。</li> <li>・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取り組みを、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参画による地産地消の推進や学校給食における地元農産物の利用促進に事業実績 必要な経費を計上</li> </ul>
--------------	--

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51350 環境保全型農業推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨・高山の農林畜産品のブランド化をメイド・バイ飛騨高山認証制度なども活用しながら強化するとともに、トップセールスによる市場開拓、市場拡大を目指します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画		
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2225								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃ビニールの適正処理、農業の安全使用の徹底など地域環境の保全を図る。</li> <li>・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市の農業と環境を守る協議会と、JA等関係団体と協議し、廃ビニールの処理にかかる費用を助成する。</li> <li>・国、県と協議し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対して交付金による直接支援を行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,100	1,658	3,100	3,100	2,355	697
特定財源	国費( )						
	県費(環境保全型農業支援事業費3/4)	1,050	830	1,800	1,800	1,347	517
	その他( )						
一般財源		1,050	828	1,300	1,300	1,008	180
個票枝番	主な事業内容						
	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する助成	1,400	1,106	2,400	2,400	1,796	690
	使用済農業用資材の適正処理に対する助成	700	552	700	700	559	7

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		3,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,890	2,900	2,900	△ 200	
1,642	1,650	1,650	△ 150	
1,248	1,250	1,250	△ 50	
査定額	説明			
2,200				
700				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック552袋)</li> <li>・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積1,506a)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取組を支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した営農活動を推進する。</li> <li>・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック559袋)</li> <li>・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積1,907a)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取り組みを支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した営農活動を推進する。</li> <li>・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。</li> <li>・廃ビニールの適正処理に関わる補助については、処理方法も定着されてきていること及び産廃処理は基本事業者負担であることから事業見直しを検討する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	農業費		根拠計画				
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する。	概要	・中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	225.5億円	219.6億円	230億円
担い手への農地集積率	41.8%	42.9%	60%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	173,000	172,752	178,000	178,000	170,989	△ 1,763
特定財源						
国費( )						
県費(中山間地域等直接支払事業費 2/3、3/4、10/10)	129,250	128,999	133,000	133,000	127,754	△ 1,245
その他( )						
一般財源	43,750	43,753	45,000	45,000	43,235	△ 518
個票枝番	主な事業内容					
	中山間地域等直接支払事業に対する助成	172,601	172,601	177,800	170,789	△ 1,812

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
171,990	172,000	172,000	△ 6,000
128,505	128,500	128,500	△ 4,500
43,485	43,500	43,500	△ 1,500
査定額	説明		
172,000	94協定		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結数 92協定</li> <li>事業参加面積 1,256ha</li> </ul>
評価等	・中山間地域における持続的な農業や集落活動への支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了予定</li> </ul>

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結数 94協定</li> <li>事業参加面積 1,243ha</li> </ul>
評価等	・中山間地域における持続的な農業や集落活動への支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了</li> <li><input type="checkbox"/> R3完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	51360 耕作放棄地対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画		農業振興地域整備計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2227							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地による洪水防止など国土の保全を向上させ、農村環境や自然環境を維持する。</li> <li>地域の団体や企業が、耕作放棄地対策に取り組むことで、地域の振興と住民同士の連携体制を強化する。</li> </ul>	概要	耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者による、農地を再生するための活動に対して支援する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
担い手への農地集積率	41.8%	42.9	60%
不作付地面積	288.3ha	305.1ha	↘

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	5,000	4,998	5,000	5,000	4,965	△ 33
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他( )						
一般財源	5,000	4,998	5,000	5,000	4,965	△ 33
個票枝番	主な事業内容					
	耕作放棄地再生利用事業に対する助成	5,000	4,998	5,000	4,965	△ 33

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,500	7,500	7,500	2,500
6,500	7,500	7,500	2,500
査定額	説明		
7,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>上宝地域 2団体(0.53ha、0.17ha) 水稲の作付け</li> <li>荘川地域 1団体(0.1ha) ソバの作付け</li> <li>国府地域 1団体(0.16ha) トウモロコシ、赤かぶの作付け</li> <li>久々野地域 1個人(0.49ha) ブドウの作付け</li> <li>丹生川地域 1個人(1.0ha) 水稲の作付け</li> <li>合計 6件 2.47ha</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費ベースで、H29は2%、H30は92%であった。農家の寄り合いや会合等の場、窓口や電話での農地相談時において制度説明を積極的に行った結果、H31は99%と更に向上した。</li> <li>各支所との耕作放棄地に関する情報共有や、相談農家への制度説明が積極的に行われた結果、申請件数が増加した。引き続き、規模縮小希望農家から担い手農家への農地集積を図るため、農地利用最適化の推進に向けた活動を積極的に進める必要がある。</li> <li>耕作放棄地全体調査結果 H30:107ha ⇒ H31:118ha (11ha増)</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域農業者と共に農地利用の最適化の推進に向けた活動を行うため、「人・農地プラン」の具現化に向けた話し合いの場へ積極的な参加を促すとともに、農家への制度説明を積極的に進める。</li> <li>農地利用最適化推進委員と農業委員が連携し、担当地域の担い手農家、農業法人、地縁団体等へ制度活用に向けた相談活動や現地調査を行い、農地の出し手と受け手との契約に結び付け、耕作放棄地解消・防止を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山地域 2個人(0.34ha、0.19ha) 水稲、パプリカ、トマトの作付け</li> <li>久々野地域 1団体(0.73ha) ブドウの作付け</li> <li>合計 3件 1.26ha</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費ベースで、H30は92%、H31は99%であった。農家の寄り合いや会合等の場、窓口や電話での農地相談時において制度説明を積極的に行った結果、R2も引き続き99%となったが再生件数は減少しており、多くの申請者が農地再生と有効利用につなげられるよう制度の検討が必要である。</li> <li>各支所との耕作放棄地に関する情報共有や、相談農家への制度説明を積極的に行った。引き続き、規模縮小希望農家から担い手農家への農地集積を図るため、農地利用最適化の推進に向けた活動を積極的に進める必要がある。</li> <li>耕作放棄地全体調査結果 H31:118ha ⇒ R2:125ha (7ha増)</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの農地再生と農地の有効利用を図るため、補助制度の内容を検討する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	既に3件の要望(複数年含む)があり、最低でも6,500千円が必要
---------------------	----------------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに



事業シート(令和2年度決算)

事業名	54100 農業土木施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	4	農業土木費		根拠計画				
			目	1	農業土木総務費						
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良</li> <li>・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する。</li> </ul>	概要	・用排水路等の農業用施設の修繕・改修整備、防災ダムの保守点検
----	--	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		70,359	69,905	51,588	51,588	48,963	△ 20,942
特定財源	国費( )						
	県費( 県移譲事務交付金、農村地域防災減災事業費 )	30	30	5,030	5,030	4,540	4,510
	その他( 農業用施設改良事業費(市単事業)17.5/100、35/100等 )	8,865	8,499	13,221	13,221	9,486	987
一般財源		61,464	61,376	33,337	33,337	34,937	△ 26,439
個票枝番	主な事業内容						
	防災ダムの維持管理	1,515	964	1,515	1,515	1,283	319
	農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり)	25,600	23,292	15,000	15,000	16,392	△ 6,900
	農業用施設工事(排水路等工事 分担金なし)	30,400	32,698	15,000	15,000	13,349	△ 19,349
	農業用施設修繕用原材料支給	5,000	4,993	5,000	5,000	4,969	△ 24
◎1	小水力発電所の維持管理			5,810	5,810	3,928	3,928
	農業用ため池ハザードマップ			5,000	5,000	4,796	4,796

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		46,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
47,107	35,862	35,862	△ 15,726	
30	30	30	△ 5,000	
12,577	11,750	11,750	△ 1,471	
34,500	24,082	24,082	△ 9,255	
査定額	説明			
1,795				
10,000				
10,000				
5,000				
5,700	施設維持管理費用等			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り)</li> <li>・農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり) 26件</li> <li>・農業用施設修繕工事(排水路等工事 分担金なし) 24件</li> <li>・広域営農団地農道清掃</li> <li>・農業用施設修繕用原材料の支給</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。</li> <li>・地域からの農業用施設修繕の要望に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。</li> <li>・市内の用排水路等の農業用施設は老朽化が顕著であり、農業用施設の修繕等に係るニーズは高くなっているため、町内会等と調整が必要。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ダムはこれまでどおり施設点検や維持管理を行う。</li> <li>・防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。</li> <li>・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整が必要である。</li> </ul>

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り)</li> <li>・荘川清流発電所 施設維持管理(発電機器・除塵機点検、維持管理)</li> <li>・農業用ため池ハザードマップ作成</li> <li>・農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり) 14件</li> <li>・農業用施設修繕工事(排水路等工事 分担金なし) 14件</li> <li>・広域営農団地農道清掃</li> <li>・農業用施設修繕用原材料の支給</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。</li> <li>・小水力発電の運営に際し地元水路管理組合と円滑な流水確保を行った。</li> <li>・地域からの農業用施設修繕の要望に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。</li> <li>・市内の用排水路等の農業用施設は老朽化が顕著であり、農業用施設の修繕等に係るニーズは高くなっているため、町内会等と調整が必要。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。</li> <li>・小水力発電施設の適正な運営に向け、水路維持管理組合と流水確保を図るとともに定期的な保守点検を実施する。</li> <li>・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整をすすめる。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・災害復旧工事による事業費の増を踏まえ、全体の事業費を調整
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

## 主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	54100 農業土木施設整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農務課
枝番・内容	1 小水力発電所の維持管理		<input checked="" type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	農業土木費	内線	2229	
		<input type="checkbox"/>		目		1	農業土木総務費	作成年月	R3.8	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・小水力発電施設の機能維持	概要	・発電所機器の保守管理
----	---------------	----	-------------

## 【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## 【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	5,810
主な経費	施設の保守管理運営経費	
	対前年度増減額(当初予算)	
		5,810

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	5,810
	繰越	
	補正等	
	最終	5,810
決算額		3,928
対前年度増減額(決算)		3,928

## R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	5,700
主な経費	施設の保守管理運営経費	
	対前年度増減額(当初予算)	
		△ 110

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・荘川小水力発電所の管理運営
[スケジュール]	財産譲渡後完成式 令和2年4～5月 発電開始 "
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	・荘川清流発電所の管理運営 最大出力 約35kW、有効落差 36.39m、最大使用水量 0.14m <sup>3</sup> /s クロスフロー水車、永久磁石同期発電機、水圧管路φ300 L=139m、 発電建屋 A=約34m <sup>2</sup> 鉄骨造
[評価等]	水力発電に利用する荘川中央用水の流水確保に向け、管理組織と協力して水路の維持管理に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・荘川清流発電所の管理運営
[スケジュール]	機器保守点検、維持補修業務
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業シート(令和2年度決算)

事業名	54120 農村環境多面的機能向上事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	4	農業土木費		根拠計画				
			目	1	農業土木総務費						
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設の保全(長寿命化)をするとともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を図る。	概要	・各地域の活動組織と市との間で締結した「農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上に対する協定」に基づく取り組みに対し支援する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	212,420	212,419	229,120	229,120	208,869	△ 3,550	
特定財源							
国費( )							
県費( 農村環境多面的機能向上事業費 3/4、10/10 )	157,479	157,479	171,870	171,870	152,844	△ 4,635	
その他( )							
一般財源	54,941	54,940	57,250	57,250	56,025	1,085	
個票枝番	主な事業内容						
	多面的機能支払事業補助金	212,299	212,299	229,000	229,000	208,759	△ 3,540

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		229,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
226,737	229,120	229,120	0	
170,087	171,540	171,540	△ 330	
56,650	57,580	57,580	330	
査定額	説明			
229,000	75組織			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・農業の水源かん養機能や洪水防止機能等の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・72組織 2,864ha
評価等	・新規参加により面積が増加した。地域資源の質的向上を更に図るため、共同活動の支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・農業の水源かん養機能や洪水防止機能等の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・74組織 2,927ha
評価等	・新規参加により面積が増加した。地域資源の質的向上を更に図るため、共同活動の支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・農地等有する多面的機能の維持、発揮のための活動に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	54200 県営土地改良事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	4	農業土木費		根拠計画				
			目	2	土地改良費						
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生産基盤である農地と野菜集出荷施設、カントリーエレベーター等の近代化施設を農道で結び移動時間の短縮を図る。</li> <li>農業基盤である農地農道・用排水路等の整備を行い、農業経営の安定を図る。</li> <li>高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、温暖化対策として小水力発電など、地域全体への新エネルギーの積極的な活用を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県が事業主体となって農地農道・用排水路等の整備を行う。</li> <li>広域農道(岩井町から久々野町長流まで)を新設する。</li> <li>市と地元受益者は、整備にかかる事業費の一部を負担する。</li> </ul>
----	--	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	153,021	138,819	93,300	93,000	64,452	△ 74,367	
特定財源							
国費( )							
県費( 県単中山間地域農業生産基盤整備促進費 10/10 )	23,700	12,734	22,000	22,000	23,297	10,563	
その他( 土地改良事業費 )	20,434	20,312	16,767	16,767	9,037	△ 11,275	
一般財源	108,887	105,773	54,533	54,233	32,118	△ 73,655	
個票枝番	主な事業内容						
	広域営農団地農道整備	33,750	24,712	20,700	20,700	2,775	△ 21,937
◎1	県営中山間地域総合整備	59,550	64,773	47,100	47,100	38,238	△ 26,535
	県営かんがい排水整備	7,000	6,977	3,500	3,500	7	△ 6,970
	中山間地域総合整備事業の受益者分担金に対する補助	22,671	12,516	22,000	22,000	23,297	10,781
	県営農村環境整備事業 小水力発電型(荘川中央用水)	29,750	29,663				△ 29,663

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		93,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
65,550	65,550	65,550	△ 27,750	
2,850	2,850	2,850	△ 19,150	
12,016	12,000	12,000	△ 4,767	
50,684	50,700	50,700	△ 3,833	
査定額	説明			
18,750	舗装工など			
43,950	東高山(高山・丹生川)、北高山(国府・上宝)、南高山(一之宮・久々野・朝日・高根)			
2,850	中山間地域総合整備に係る地元分担金に対する補助			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域営農団地農道整備事業 道路工事</li> <li>県営農村環境整備事業 小水力発電整備型 導水施設工事、発電施設工事</li> <li>県営中山間地域総合整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>東高山地区 用水路工事、農道工事</li> <li>荘川清見地区 用水路工事、排水路工事、ほ場整備工事</li> <li>国府上宝地区 用水路工事、排水路工事、農道工事</li> </ul> </li> <li>県営かんがい排水整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>高原用水地区 ゲート補修工事</li> </ul> </li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。</li> <li>県営事業の今後の実施について、事業の精査を十分に行う必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域営農団地農道整備事業 道路工事</li> <li>県営中山間地域総合整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>東高山地区 用水路工事、農道設計委託</li> <li>国府上宝地区 用水路工事、排水路工事、農道工事</li> <li>南高山地区 用水路測量委託、農道測量調査委託</li> </ul> </li> <li>県営かんがい排水整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>高原用水地区 ゲート補修工事</li> </ul> </li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。</li> <li>県営事業の今後の実施について、事業の精査を十分に行う必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・県の事業計画に基づく事業費負担に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	54200 県営土地改良事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農務課
枝番・内容	1 県営中山間地域総合整備		<input checked="" type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	農業土木費	内線	2229	
		<input type="checkbox"/>		目		2	土地改良費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・営農や農村生活が不利な中山間地域において、農業用排水施設等の総合的な整備を行い、活性化を図る。	概要	・県が事業主体となり実施する事業に対し、市と地元で負担金を支出
----	--	----	---------------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	59,550
	繰越	
	補正等	
	最終	59,550
決算額		64,733
対前年度増減額(決算)		19,419

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	47,100
主な経費	・負担金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 12,450

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	47,100
	繰越	
	補正等	
	最終	47,100
決算額		38,238
対前年度増減額(決算)		△ 26,495

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	43,950
主な経費	・負担金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,150

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・県営農村官庁整備事業小水力発電整備型 導水施設工事、発電施設工事 県営中山間地域総合整備事業 東高山地区 用水路工事、農道工事 荘川清見地区 用水路工事、排水路工事、ほ場整備工事 北高山地区 用水路工事、排水路工事、農道工事	
[評価等]	
・事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。 ・県営事業の今後の実施について、事業の精査を十分に行う必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・県が事業主体となり実施する事業に対し、市と地元で負担金を支出。 令和2年度から南高山地区(一之宮、久々野、朝日、高根地域)にて新たに実施 【実施地域】 ・東高山(大八、丹生川地域)用水路整備、農道整備、農業集落排水整備、農業集落防災安全施設整備 H27～R3 ・南高山(一之宮、久々野、朝日、高根地域)用水路整備、農道整備 R2～6 ・北高山(国府、上宝地域)用水路整備、農道整備 H30～R4	
[スケジュール]	
県事業着手後に負担金支出	

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・広域営農団地農道整備事業 道路工事 ・県営中山間地域総合整備事業 東高山地区 用水路工事、農道設計委託 国府上宝地区 用水路工事、排水路工事、農道工事 南高山地区 用水路測量委託、農道測量調査委託 ・県営かんがい排水整備事業 高原用水地区 ゲート補修工事	
[評価等]	
・事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。 ・県営事業の今後の実施について、事業の精査を十分に行う必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・県が事業主体となり実施する事業に対し、市と地元で負担金を支出。 令和2年度から南高山地区(一之宮、久々野、朝日、高根地域)にて新たに実施 【実施地域】 ・東高山(大八、丹生川地域)用水路整備、農道整備、農業集落排水整備、農業集落防災安全施設整備 H27～R3 ・南高山(一之宮、久々野、朝日、高根地域)用水路整備、農道整備 R2～6 ・北高山(国府、上宝地域)用水路整備、農道整備 H30～R4	
[スケジュール]	

事業シート(令和2年度決算)

事業名	54210 土地改良事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	4	農業土木費		根拠計画				
			目	2	土地改良費						
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。</li> <li>・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援する。</li> <li>・土地改良事業に係る自己負担金の補助(高根地域)</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	225.5億円	219.6億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,517	19,876	22,170	22,170	21,351	1,475
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(土地改良施設維持管理適正化事業雑入、土地改良事業費)	13,675	13,500	15,175	15,175	15,032	1,532
一般財源		6,842	6,376	6,995	6,995	6,319	△ 57
個票枝番	主な事業内容						
	土地改良施設維持管理適正化事業負担金	6,017	6,016	6,170	6,170	6,170	154
	土地改良施設維持管理適正化工事	14,500	13,860	16,000	16,000	15,181	1,321
	農業用施設設備事業費補助金(債務負担)						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		22,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
13,907	13,910	13,910	△ 8,260	
7,175	7,175	7,175	△ 8,000	
6,732	6,735	6,735	△ 260	
査定額	査定額			
5,910	飛騨東部大尾根揚水機場整備事業ほか8件			
8,000	中切揚水機場 2基			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩井揚水機場ポンプ整備補修工事</li> <li>・大西第1揚水機場ポンプ整備補修工事</li> <li>・農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 7件</li> </ul>
評価等	・適正化事業の今後の実施について、引き続き十分に精査を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正化事業は、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松之木揚水機場ポンプ整備補修工事</li> <li>・岩井水路水管橋整備補修工事</li> <li>・農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 9件</li> </ul>
評価等	・適正化事業の今後の実施について、引き続き十分に精査を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正化事業は、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・土地改良施設の機能低下や機能回復に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------